

令和2年度より七浦小学校はコミュニティ・スクールとなりました。



学校だより

令和2年4月6日
佐渡市立七浦小学校
学校だより No. 1

置かれた状況の中で、元気にスタート

校長 山口 明美

一斉休校した学校に、子どもたちの元気な声が戻ってきました。しかし、新型コロナウイルスの猛威は収まる気配はなく、毎日が緊張の連続です。大変な状況下での新学期のスタートとなりました。また、日々変わるコロナウイルス感染防止対策の中、今の状況から力強く一歩を踏み出したいものです。

七浦小学校は4月6日の入学式で7名の新入生と3名の転入生を迎え、全校40名で元気にスタートしました。今年度は、教育目標「学び合い 高め合い 共に伸びる子」を基に、子ども同士、子どもと教職員との和を大切にしながら切磋琢磨する姿を大切にしていきます。そのために、以下の2点を学校経営の基本方針とします。

- 子どもたち一人一人が、今もこれからも幸せになれることを目指します。そして、今、学校で学んでいることが、10年後、20年後の将来に繋がっていることを意識し、明るい未来の創り手となれる子どもを育成します。
- 子どもは家庭で生まれ、学校で鍛えられ、地域で磨かれます。学校は鍛える場として、家庭と連携し、地域と共に教育活動に取り組みます。

1年のスタートはみんなが不安と緊張の連続です。自分が思い描いていたこととは違うスタートを切った人も、たくさんいるでしょう。しかし、新しいことを楽しむ好奇心、一つのことにこだわらない柔軟性、うまくいかないことでも頑張り続ける持続性をもつことで、これまで気が付かなかった新しい自分に出会えるかもしれません。保護者の皆様、地域の皆様のお力添えをいただきながら、今年度も教職員一丸となり取り組みます。よろしく願いいたします。

※ 感染防止対策として、今年度初めの転入職員のあいさつ回りは、学校関係施設のみとさせていただきます。